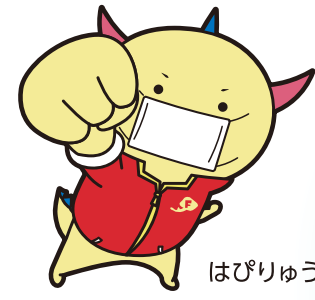


県政この一年



杉本 達治 知事

新型コロナウイルスの「感染拡大防止」と「経済再生」の両立を図りながら、「福井県長期ビジョン」に基づく県政を本格的に推進した1年を振り返ります。

【年末年始も感染対策の徹底を】・「おはなしはマスク」を継続 ・体調管理の徹底 ・お出かけの際は、混雑を回避

新型コロナウイルス感染症への対応

感染拡大防止対策

・全国に先駆ける「福井モデル」

- ・県民向けの相談窓口や入院・検査調整の一元化により積極的疫学調査体制を整備
- ・幅広く検査を行う積極的疫学調査により早期発見・早期治療を実現
- ・エビデンスや現場の状況を把握し、先手先手の対策を実施



福井モデルを説明

- ・県営接種会場の設置やワクチンバスの運行により県民のワクチン接種を推進
- ・軽症者向けの臨時医療施設を体育館に準備(全国初)

経済再生への取り組み

・消費喚起策としてさまざまなキャンペーンを実施

- ・デジタルバウチャー「ふく割」の発行
- ・商店街などでGoToショッピングを展開
- ・ふくいdeお得キャンペーン
- ・GoToイート食事券の発行 など



・新型コロナの影響を受けた事業者などを支援

- ・福井県版持続化給付金、中小企業者等事業継続支援金などにより、事業継続を支援
- ・福井県雇用維持緊急助成金の支給や雇用シェアにより雇用を維持
- ・成長産業や人手不足の分野への労働移動を促進



雇用シェアについて企業代表者と意見交換

進む高速交通網の整備

【北陸新幹線】

- ・2年後に迫った福井・敦賀開業に向け、工事が着実に進行
- ・金沢駅から敦賀駅までが一本のルートでつながり、芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅の外観がお目見え
- ・新幹線駅舎や車両基地での現場見学会を開催
- ・11月に杉本知事が北陸新幹線建設促進同盟会の会長に就任。敦賀・大阪間の一日も早い着工と全線開業に向け、沿線一体となった活動を展開



福井駅外観



整備が進む中部縦貫自動車道

【福井と中京圏を結ぶ道路の整備】

- ・令和8年春の全線開通に向けて中部縦貫自動車道大野油坂道路の整備を推進
- (大野・和泉IC間19.5kmは令和4年度開通予定)

県民の安心・安全

【ドクターヘリ】

- ・県単独のドクターヘリ運航開始により救急医療体制を強化(5月)



ドクターヘリ

【大雪】

- ・対策として「みち情報ネットふくい」で除雪状況を「見える化」、市町の除雪車へのGPS導入を支援

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)開催

- ・インターハイを54年ぶりに福井県を中心に開催(7月~8月)
- ・ボートや男子ホッケーの団体競技、女子体操個人競技での優勝など、福井県勢が躍動
- ・県内高校生が大会2年半前から広報やおもてなし活動を行ったほか、期間中はボランティアスタッフとして各競技場で活躍



総合開会式での歓迎演技

福井県長期ビジョンに基づく県政の推進

ふくいエンタメ計画 ~ふくいの魅力をとがらせよう~

100年に一度のまちづくり

【新幹線駅周辺のまちづくり】

- ・福井駅西口の再開発エリアでホテル棟の建築開始(10月)
- ・歩道を活用したにぎわい創出の社会実験「ふくみち」などハード・ソフトの両面でまちづくりを推進



福井駅西口再開発イメージ

【観光客の心をつかむ魅力づくり】

- ・ブランド米「いちほまれ」や「越前がれい」「若狭ぐじ」など食のプロモーションを首都圏で強化
- ・ゴディバ ジャパンとのコラボにより「ふくいそば×チョコレートマリアージュキャンペーン」を実施(11月~)
- ・首都圏や関西圏からの誘客拡大のため、JR西日本や旅行会社と連携した「福井県観光開発プロジェクト」を発足(11月)
- ・九頭竜川・荒島岳エリアが「ジャパンエコトラック」に県内初の登録(4月)
- ・嶺南地域に国のナショナルサイクルルートの指定を目指す若狭湾サイクリングルート推進協議会を設立(6月)



ゴディバ ジャパンのシュシャン社長と

文化とスポーツで福井を盛り上げ

【文化】

- ・令和4年秋に開館予定の「一乗谷朝倉氏遺跡博物館」(仮称)をPRするため、落語家の春風亭昇太さんに「名誉お屋形さま」を委嘱
- ・福井市中心部での「まちなかステージ」や県内4市町の文化ホールを拠点とする「おとまち@福井」プロジェクトを始動



まちなかでのステージ

【スポーツ】

- ・東京オリンピックで金メダルを獲得したフェンシング男子エペ団体の見延和靖選手、野球の吉田正尚選手、栗原陵矢選手に県栄誉賞を授与
- ・県内5つのトップスポーツチームに委嘱した「ふくい県民応援チーム」の愛称が「FUKUI RAYS」に決定(3月)
- ・フルマラソンの大会名称を「ふくい桜マラソン」、スローガンを「かける思い、サクサク。」に決定(7月)(北陸新幹線福井・敦賀開業後の春に開催予定)



見延選手に県栄誉賞を贈呈

次世代チャレンジ宣言 ~チャレンジで未来をつくろう~

【社会全体で子育てを応援】

- ・子育て世帯や妊娠中の方を応援する「ふく育」応援事業を開始(10月)



【DX推進】

- ・県内のDXを生活・産業・行政の各分野で推進

- ・隠れた交通危険エリアの見える化やSNSを活用した災害時の避難所運営を実施
- ・県内企業のDXを推進するため、「ふくいDXオープンラボ」を開設 など

【多様な企業誘致の推進・成長産業へのチャレンジ応援】

- ・「高付加価値企業」誘致の補助制度を全国で初めて創設(4月)
- ・県民衛星「すいせん」の打ち上げ成功(3月)、「すいせん」から得られるデータの利活用を推進
- ・「嶺南Eコースト計画」に基づく原子力サイクルビジネスの事業可能性調査を推進



AXELSPACE 県民衛星「すいせん」が初めて撮影した写真

しあわせアクション運動 ~一人ひとりがプレイヤーになろう~

【次世代に選ばれる『しあわせ先進モデルふくい』の実現】

- ・持続可能な地域づくりを進める自治体として福井県が国の「SDGs未来都市」に選定(5月)

【県民の夢実現を徹底応援】

- ・「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」の参加プラン実現のため、地域事業家が指導者となって県民の地域活性化の取り組みを応援



プラン実現に向け助言を行う地域事業家

【都市部への攻めの移住政策】

- ・中京圏との交流人口拡大を目指し、名古屋事務所を開所(9月)
- ・県内への移住希望者に対する相談や現地案内、情報発信を担う「移住サポーター」を県内17市町の移住者に委嘱



名古屋事務所